

令和6年度 学校関係者評価委員会報告

北見医師会看護専門学校 令和5年度自己評価結果に基づき、令和6年5月29日（水）開催の学校関係者評価委員会における評価と意見を以下のとおり、報告いたします。

学校関係者評価委員7名の評価と意見

自己評価が適切になされているかを5段階で評価

5：そう思う、4：ややそう思う、3：どちらでもない、2：あまり思わない、1：思わない

大項目	平均点 (R5年度)	自己評価 点の平均	意見・感想等
I. 教育理念・ 目的・卒業 生像	4.7 (4.7)	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・指導目標を教員全員で考える機会がある。毎月担当者がプレゼンをして協議している取組は素晴らしいと思う。 ・ホームページは見やすく良い。学生便覧の効果的活用が不明である。
II. 学校運営	4.3 (4.7)	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の人員不足の中、大変だと思うが大健闘しているのが窺える。 ・経験の浅い教職員が増えているとの事だが、なかなか指導に当たる時間を作ることもマンパワー不足の状況では難しいと考える。時間をかけて丁寧な指導にあたることも、お互いに気力も体力も必要となる。その中でも職員間の連携を強化する等、注力している様子が分かった。 ・運営面は適切に行われている。
III. 教育活動	4.4 (4.5)	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・学生への教育方針・支援は素晴らしいと思う。先生方の努力はとても大変なことではあるが、今後も宜しく願いたい。 ・教職員の意識は高く評価できる。 ・心理的安全性が担保された環境作りの一つとして、学生を含めてどのような言動がハラスメントにあたるのか、ディスカッションをして不快に感じる個人差について知る機会としてはどうか。 ・学校での研修やゼミ対策など校内学習も積極的に行われているのが窺える。
IV. 学生指導 等	4.0 (4.5)	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が低下している学生も受け入れる現状で、教員が大変ご苦労している実態を理解した。 ・学生の学力低下は実習を受入れ、指導していて感じる部分がある。どのような学生にでも教員の方々の歩み寄る姿勢には頭が下がる。 ・少子化の影響も考えられるが、入学希望者の減少だけではなく、様々な事由による退学者もいる中、学生の学力やパーソナリティなどを配慮した指導は特に大変であると思う。学生の個別性に配慮しながら個別指導にあたることができている。 ・困難なことであるが学生の自己指導力を育成し、退学者の低減が望まれる。 ・講義へ行き学生の学習意欲、興味が薄いと感じた。実習だけではなく授業にも前向きな取組むよう指導願いたい。

V. 学修成果	4.4 (4.0)	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格率アップは素晴らしい。 ・立派な成果を出せている。 ・国家試験合格率が厚労省発表の合格平均よりもやや下回るところが気になる点である。北見医師会看護専門学校のアピールポイントとなるよう向上できると良い。 ・卒業生の自己評価の時期を半年～1年後あたりに延長した方が、自身の学習状況を客観的にみることができると考える。卒後、就業環境に慣れるまでに時間がかかり精一杯の中では、なかなか自己の振り返りまでには至らないと考える。
VI. 学生支援	4.4 (4.2)	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな配慮がなされている。 ・手厚い支援をしていることを、高校生方に周知できるよう工夫してほしい。 対応：学校カウンセラーの配置や入学後の学生修学資金（奨学金）等について更に、周知できるように努めます。 ・働き方改革に伴い、学生支援が減少するのやむを得ない感じがする。
VII. 教育環境	3.7 (4.3)	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・図書利用状況より、時代の影響を感じた。 電子書籍や学習アプリなどの検討もしてはどうかと考える → 令和5年から導入しています ・図書室の利用時間が短く、また時間が指定されていて申出をしないと借りられない状況は利用しにくいと感じた。学生の需要と利用率はどうか、学生の声も聴きながら利用しやすい環境づくりが必要である。 ・図書室利用時間が短時間であることに驚いた。利用時間の拡大は人間的に難しいのだろうか。 ・経費節減も必要であるが、図書室利用時間など教育資源の効果的な活用が重要と考える。 対応：図書室利用時間については検討していきます。 ・実習室が寒く上着着用ではなくヒートテック等自分で対応するよう指示があった。環境を整えるとともに実習着にカーディガン等を含めることを検討してもらいたい。 対応：実習室使用時は事前に室温調整をしていますが、ユニホーム着用の場合、アンダーウェアを着用してもかまわないと説明しています。 臨地実習では病室内でカーディガン着用を許可されていないために、学内実習においても実習に準じた服装にしています。 学生控室等で寒い時には指定色であればカーディガンの着用を許可しています。

VIII. 学生募集	4.0 (4.8)	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の背景もあり学生募集に苦慮していることと、その努力が伝わる。ともかく足を運ぶことを実践する。 ・年齢層、地域に限らず広く募集活動をしていることを初めて知った。評価委員会でアドバイスがあったように更に地域を広げ、オープンキャンパスを積極的に取り組むことを期待する。 ・オホーツク圏全高校 23 校に学校説明会の案内をしても、希望する学校が 5～6 校という現実には驚いている。 ・中高生の対象だけでなく、介護士や他職種を対象に説明会の機会が増えることはとても良い。 また当院でもごく一部だが看護師を希望する中学生（男女）の施設見学を毎年行っている。北見市だけでなく、オホーツク・遠紋地区など他の医療機関でも行われることを期待する。看護師を職業にしたいと思えるような普及活動が必要と感じた。 ・種まきのようなつもりで幅広く、丹念に行うことを期待する。 ・営業は求められているところに行くのではなく、数をこなしていく方がよい。今の時代は長い話や文章で伝えるのは難しいので、まず卒業後の姿や看護師は AI に代われない人間性の高い仕事であること、大学との違い等、北見医師会看護専門学校ならではのメリットをショート動画や SNS を使ってみるのはどうか。もっとアピールできるとよい。 ・オープンキャンパスの時に先輩の話聞けるのは良い事であるが、知らないで質問ができない。ある程度テーマを決めて先輩が話をする機会があると良い。動画やアーカイブでオープンキャンパスに参加できなかった人見られるようにすると良い。
IX. 財務	4.1 (4.5)	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・執行状況は適切である。生徒数の確保が望まれる。 ・学生数減少によりかなり厳しい状況と思われるが、存続させている努力が素晴らしい。 ・学生数が減少となり収入への影響が気付きである。
X. 法令等の 遵守	4.7 (4.6)	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス遵守の意識は高く、評価できる。 ・自己評価を細やかに言い、次年度への課題を明らかにして、特に重点課題への取組みに焦点を当てての頑張りを労います。

XI. 社会貢献 地域貢献	4.1 (4.6)	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き教育理念の具現化を通して、社会に貢献できる人材を育ててもらいたい。 ・若い人のアウトリーチに期待する。
その他の意見			<ul style="list-style-type: none"> ・入学前に知っておきたかった事項がいくつかあった。テプラや実習に係る細々とした必要物品があり、入学後予定外の出費が多く事前に周知する必要があるのではないか。 対応：学校で使用する必要物品の購入費用は『学校案内』でお知らせしています。金額は諸経費の範囲内に納まっています。 ・自分の時代は、学生個々に所属病院があり、入学前にたくさんの情報を先輩から聞いて卒業後の姿が明確となり退学者はいなかった。今の時代にあった学生への働きかけ（コミュニケーション）が必要である。

令和6年度の重点課題

1. **Ⅷ学生募集（学生数の確保）**：令和3～5年、評価点は4.6。自己評価点の低下はないが、学校存続に係る重要課題である。高校新卒者だけでなく、社会人入学生の増加を目指したポスターを制作し掲示場所の検討を行う。Instagramの更新、社会人に対しての随時学校見学を実施する。
2. **Ⅴ学修成果（国家試験合格率の維持・上昇）**：全学年に学習アプリ教材を導入、2年生にも国試ゼミを受講できる調整するなど、1・2年生から国家試験学習の強化に取り組む。
3. **Ⅳ学生指導（学習困難者への支援体制と退学者の低減）**：学生個々の学習状況等を把握し個別の学習指導を実施していく。